

青梅市文化財ニュース

第247号

平成20年5月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館（青梅市駒木町1-684 TEL0428-23-6859）

冬鳥から夏鳥へ（野鳥の季節変化）

今年の4月29日、青梅市南東部の大荷田丘陵を歩きました。雑木林の木々の若葉が広がり、フジの花が咲き始め、ウワミズザクラは満開、もう春というよりも初夏の気配が感じられました。鳥たちも繁殖期に入り、メジロやシジュウカラの囀りが賑やかです。通過していただかもしれませんが、オオルリやキビタキなど夏鳥も姿を見せています。そんな若葉の林にも、マヒワやシメの群れなど、冬鳥の姿もまだ見ることができました。初夏の林の最後の冬の名残かもしれません。

大荷田丘陵では4月に入ると夏鳥も渡来し、鳥たちは繁殖期に入ります。同時に4月は、まだ夏鳥と冬鳥の入れ替わりの時期でもあり、巣作りする鳥や渡りの移動途中の鳥が混在しています。そこで、大荷田丘陵の平成17年(2005)から平成19年(2007)にかけての4月、5月、6月に観察された野鳥を、月別にまとめてみました。

◆4月

トビ、キジ、キジバト、カセミ、アオゲラ、コゲラ、(ツバメ)、(イワツバメ)、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、ツグミ、(ヤブサメ)、ウグイス、(センダイムシクイ)、(キビタキ)、(オオルリ)、エナガ、ヤマゲラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カラヒリ、マヒワ、イカル、シメ、スズメ、カケス、ハジロガラス、コジュケイ、ガビチョウ 34種

◆5月

カカモ、トビ、キジ、キジバト、アオバト、(ツツトリ)、(ホトキス)、カセミ、アオゲラ、コゲラ、(ツバメ)、(イワツバメ)、キセキレイ、(サンショウクイ)、ヒヨドリ、トラツグミ、(ヤブサメ)、ウグイス、(メボソムシクイ)、(センダイムシクイ)、

(裏面に続く)

(キビタキ)、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホシジロ、カラヒリ、イカル、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシブトガラ
ス、コジュケイ、ガビチョウ 34 種

◆ 6 月

ゴイサギ、カルガモ、トビ、キジ、キジバト、アオバト、アオケラ、コケラ、(ツバメ)、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロ
セキレイ、(サンショウクイ)、ヒヨドリ、(ヤブサメ)、ウグイス、(キビタキ)、(オオルリ)、(サンコウチョウ)、エナガ、ヤマガラ、
シジュウカラ、メジロ、ホシジロ、カラヒリ、イカル、スズメ、カケス、ハシブトガラス、コジュケイ、ガビチョウ 31 種

※平成 17 年(2005)から平成 19 年(2007)の 4 月、5 月、6 月の確認鳥種リスト(大荷田)

※_____：冬鳥、()：夏鳥または夏鳥的通過鳥(冬鳥、夏鳥は大荷田を基準)

※コジュケイ、ガビチョウは外来種

4 月は、冬鳥と夏鳥がまだ混在しています。5 月に入ると冬鳥は見られなくなりますが、
メボソムシクイのように、亜高山帯(奥多摩ではほぼ標高 1700m 以上の山)で繁殖する鳥
が通過していくことがあります。大荷田での繁殖期は、4 月から 7 月上旬にかけてですが、
生息する鳥の種類が一斉に入れ替わるというわけではありません。

(文責 櫻岡 幸治)